

2021

感恩奉仕
Gratitude and Service

ファクトブック

データでみる 九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学
KYUSHU LUTHERAN COLLEGE

CONTENTS

- | | | |
|--------------|------------|------------------------|
| 1. 基本理念・教育目標 | 6. 就職・進路支援 | 11. 学生生活 |
| 2. 沿革 | 7. 教育 | 12. 施設・設備 |
| 3. 学生数 | 8. 地域貢献 | 13. 新型コロナウイルス
感染症対策 |
| 4. 入学状況 | 9. 国際交流 | |
| 5. 卒業後の進路 | 10. 研究 | |

各種データは、原則として2021年5月1日を基準としています。

1. 基本理念・教育目標

—校章の意味—



キリスト教精神「感恩奉仕」を基礎に全人格を磨く

学問の府を意味するペンをかたどった校章の中心には、ルター(ルーテル)紋章に刻まれている十字架の心を単純化した“赤い丸”が配されています。
この一点こそが、学院の原点「霊育」でもあります。
大学を巣立つ皆さんが「神様の恩恵に感謝し、神と人に仕え(奉仕する)=感恩奉仕」に生きる
ことこそが、九州ルーテル学院の理念であり、使命であると考えています。

基本理念

- ①学院標語“感恩奉仕”に則ったキリスト教主義の人格教育
- ②幅広い教養教育と専門領域における高度な教育研究
- ③福祉と社会・文化の向上に資する人材の育成

教育目標

グローバルな視野とボランティア精神を培い、専門に関する基礎を身につけ、バランスの取れた判断のできる、人間性が豊かで対人的配慮を有した人材の育成を図ります。

- ①志を高く持ち、継続的に努力をする人
- ②確かな倫理観を持ち、社会・文化の向上に貢献する強い意志を有する人
- ③本学の理念と特色を理解し、学ぶ意欲の高い人

研究に関する基本方針

- ①研究の組織的取組強化による価値の創造と地域貢献
- ②大学間連携等の共同研究の強化による社会との連携

地域連携・社会貢献に関する基本方針

- ①教育研究の成果として、蓄積する知的及び人的な資源を積極的に社会へ還元
- ②地域社会、公共団体・教育機関・産業界、国際社会等、多様な場での交流の促進
- ③地域の知の拠点として、公開講座、オープンカレッジ等、多彩な社会人教育プログラムによる生涯学習の推進に寄与
- ④グローバルな視野やマインドを身につけ、国際社会で活躍できる人材の輩出

2. 沿革

年代		沿革
1908	明治41	米国ペンシルバニア州のインマヌエル・ルーテル教会で「日本に女学校をつくるために」5ドルが献金された。
1926	大正15	1926(大正15)年 キリスト教主義の女学校として九州女学院(5年制)(初代院長マーサ・B・エカード)開校 その後、九州女学院中学校(1947年)、九州女学院高等学校(1948年)、九州女学院幼稚園(1948年)を設置
		 開校当時の校舎(現高等学校本館)
1975	昭和50	九州女学院短期大学 開学
		 短大学舎(現大学1号館)
1997	平成9	九州ルーテル学院大学 開学 人文学部人文学科(入学定員150人・男女共学)
		 初めての大学入試
1998	平成10	九州女学院短期大学 閉校(廃止)
		 最後の卒業式
2004	平成16	人文学部 人文学科(入学定員75人)及び 人文学部 心理臨床学科(入学定員75人) 設置
2006	平成18	九州ルーテル学院大学大学院 開学 人文学研究科障害心理学専攻(修士課程)(入学定員5人)
2007	平成19	人文学部人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻(入学定員35人)及びこども専攻(入学定員40人)設置
2011	平成23	人文学部人文学科 こども専攻を保育コース(定員30人)と児童教育コース(定員10人)に改編
2014	平成26	こころとそだちの臨床研究所 開設
2016	平成28	九州ルーテル学院大学附属黒髪乳児保育園 開園
2017	平成29	人文学部人文学科こども専攻(入学定員50人:保育コース定員30人 児童教育コース定員20人)及び 心理臨床学科(入学定員65人)に変更
2018	平成30	公認心理師養成課程認可
2023	令和5	学科・専攻再編(予定) 人文学科(定員100人) (キャリア・イングリッシュ専攻(定員35人)保育・幼児教育専攻(定員30人))、児童教育専攻(定員35人) 心理臨床学科(定員50人)

3. 学生数

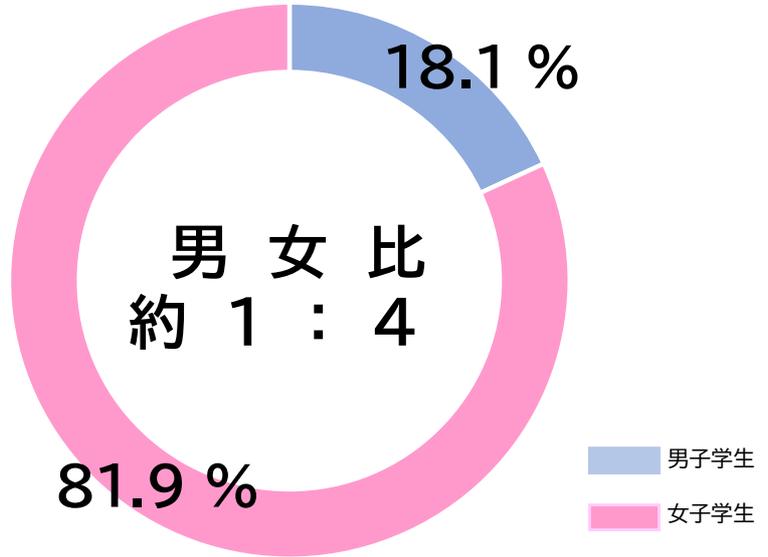
2021年度

人文学部

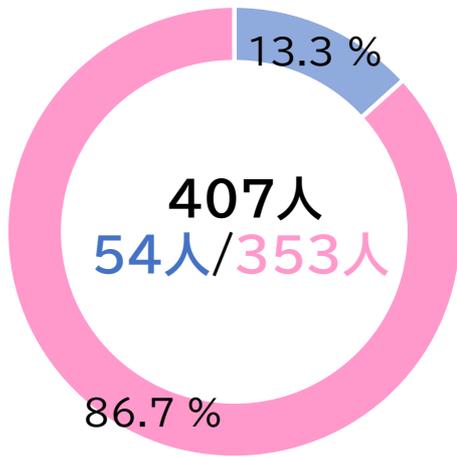
697人

女子学生 571人

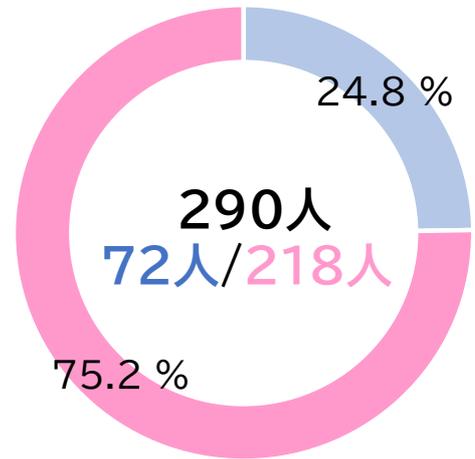
男子学生 126人



人文学科



心理臨床学科



人文学研究科 9人



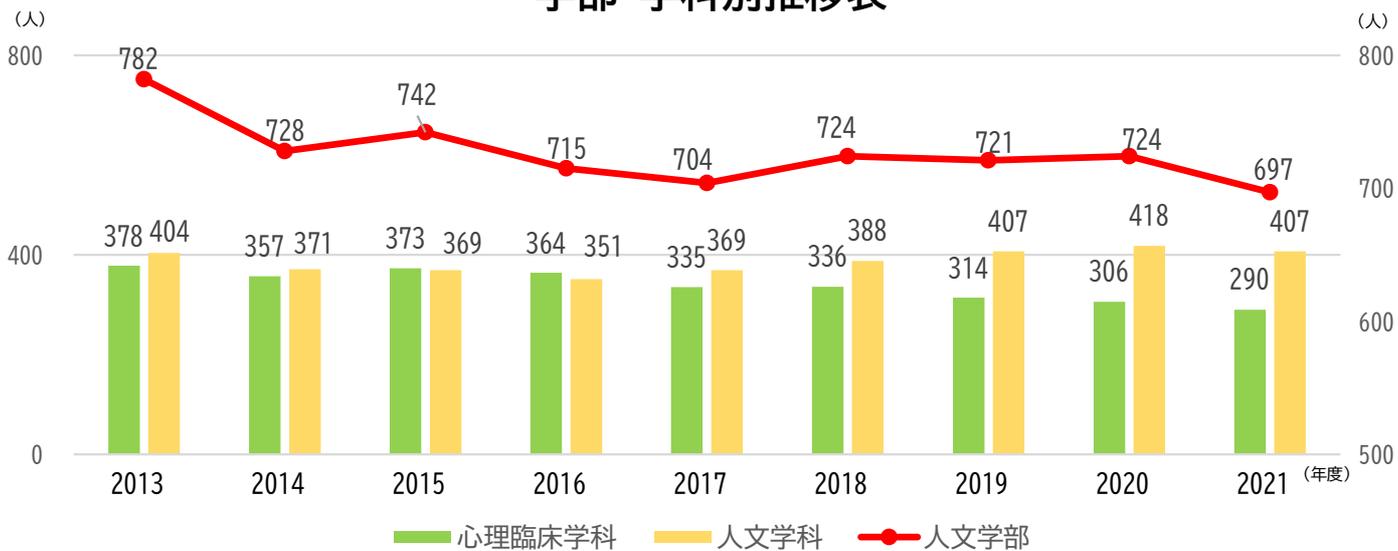
総数:706人

人文学科 407人
 心理臨床学科 290人
 人文学研究科 9人



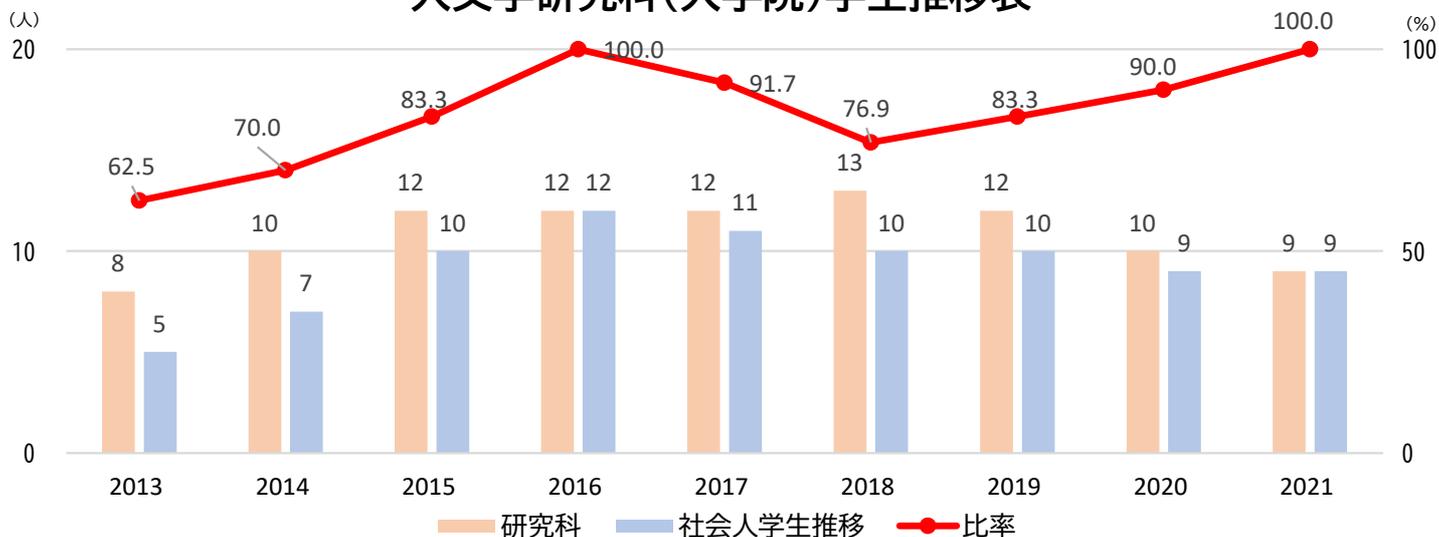
3. 学生数

学部・学科別推移表



(年度)	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
人文学科	404	371	369	351	369	388	407	418	407
キャリア・イングリッシュ専攻	186	166	172	163	169	169	173	179	175
こども専攻	218	205	197	188	200	219	234	239	232
保育コース	152	128	127	125	125	131	132	135	130
児童教育コース	66	77	70	63	75	88	102	104	102
心理臨床学科	378	357	373	364	335	336	314	306	290
合計	782	728	742	715	704	724	721	724	697

人文学研究科(大学院)学生推移表



4. 入学状況



入学式

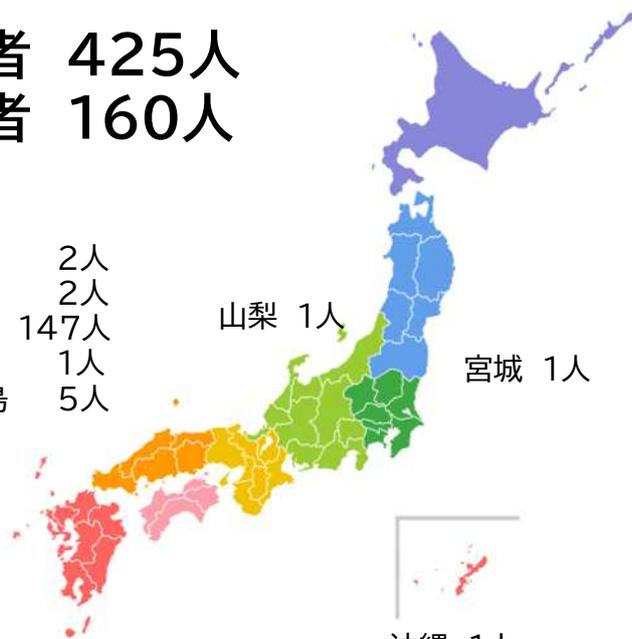
2021年度

志願者 425人
入学者 160人

福岡 2人
長崎 2人
熊本 147人
大分 1人
鹿児島 5人

山梨 1人

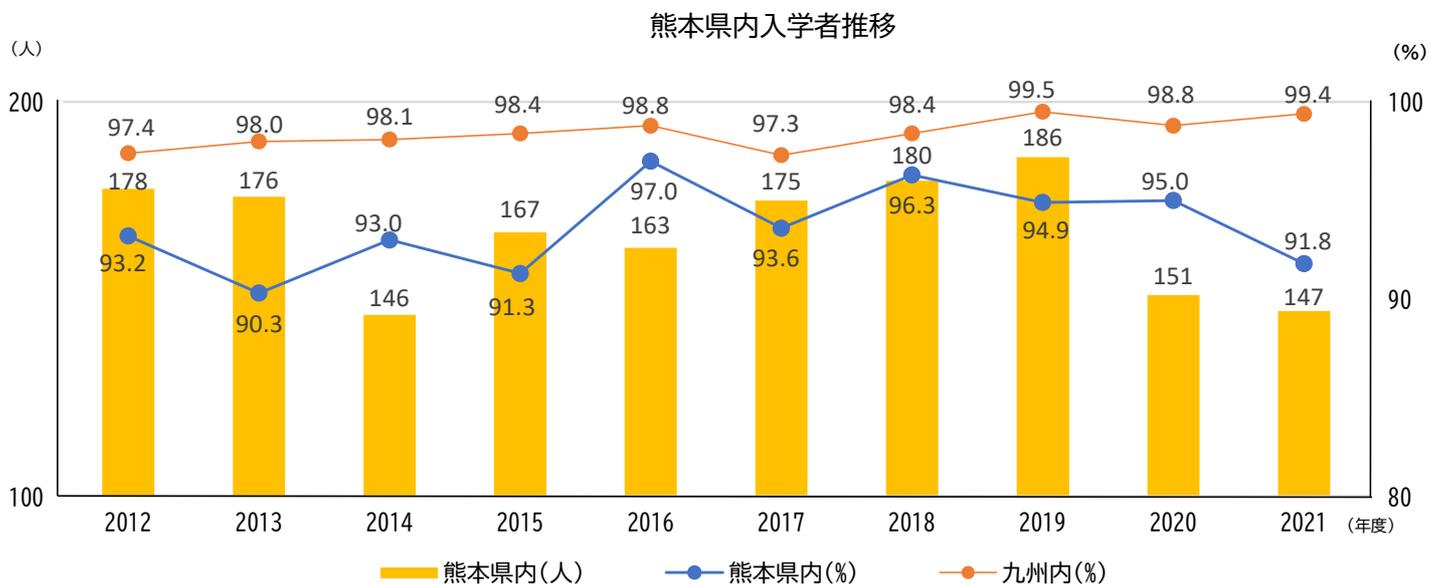
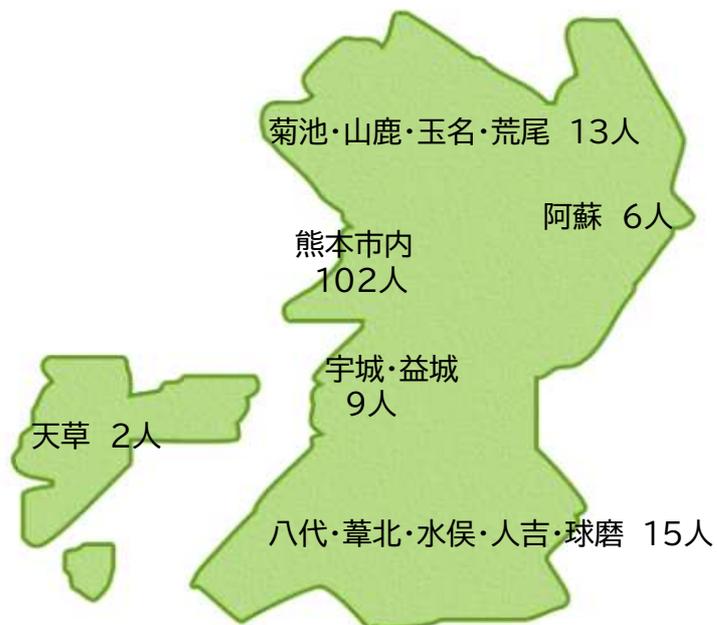
宮城 1人



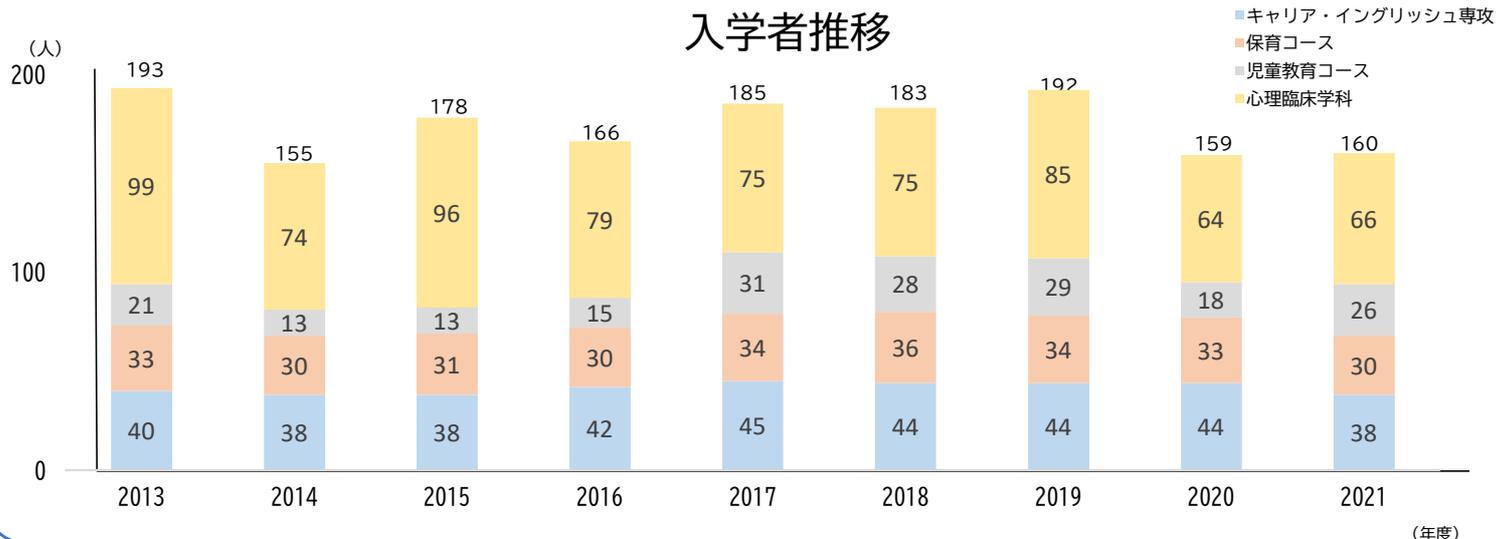
沖縄 1人

熊本県内地域別入学者

地域	(人)	(%)
熊本市内	102	69.4
菊池・山鹿 玉名・荒尾	13	8.8
八代・芦北・水俣 人吉・球磨	15	10.2
宇城・益城	9	6.1
阿蘇	6	4.1
天草	2	1.4
合計	147	100



4. 入学状況



2021(令和3)年度 入学選抜試験別内訳(人)

	人文学部			人文学科			心理臨床学科		
	志願者	入学者	倍率	志願者	入学者	倍率	志願者	入学者	倍率
学校推薦型選抜(指定校)	49	49	1.00	29	29	1.00	20	20	1.00
学校推薦型選抜(併設校)	18	18	1.00	10	10	1.00	8	8	1.00
学校推薦型選抜(公募)	59	38	1.55	29	26	1.12	30	12	2.50
(内、奨学金大学給付型)	5	1	5.00	4	1	4.00	1	0	0.00
帰国生及び私費外国人留学生	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
一般Ⅰ期選抜	203	43	1.80	118	23	1.97	85	20	1.60
一般Ⅱ期選抜	41	10	1.95	23	5	2.56	18	5	1.50
大学入学共通テスト利用選抜	55	2	2.50	35	1	2.33	20	1	2.86
全選別合計	425	160	1.63	244	94	1.64	181	66	1.62

(倍率:志願者/合格者)

2021(令和3)年度 志願者・入学者内訳(人)

区分	定員	志願者	入学者	倍率
	キャリア・イングリッシュ専攻	35	72	38
こども専攻	保育コース		30	1.30
	児童教育コース	50	172	26
心理臨床学科	65	181	66	1.62
合計	150	425	160	1.63

(倍率:志願者/合格者)

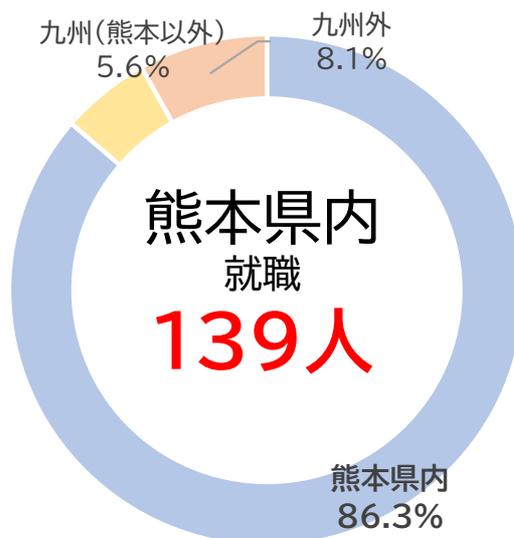
2021(令和3)年度 人文学研究科(大学院)志願者・入学者内訳(人)

定員	志願者	入学者	倍率
5	6	5	1.2
入学者属性(人)			
区分	志願者	合格者	入学者
一般	1	0	0
社会人	5	5	5
外国人	0	0	0
合計	6	5	5

(倍率:志願者/合格者)

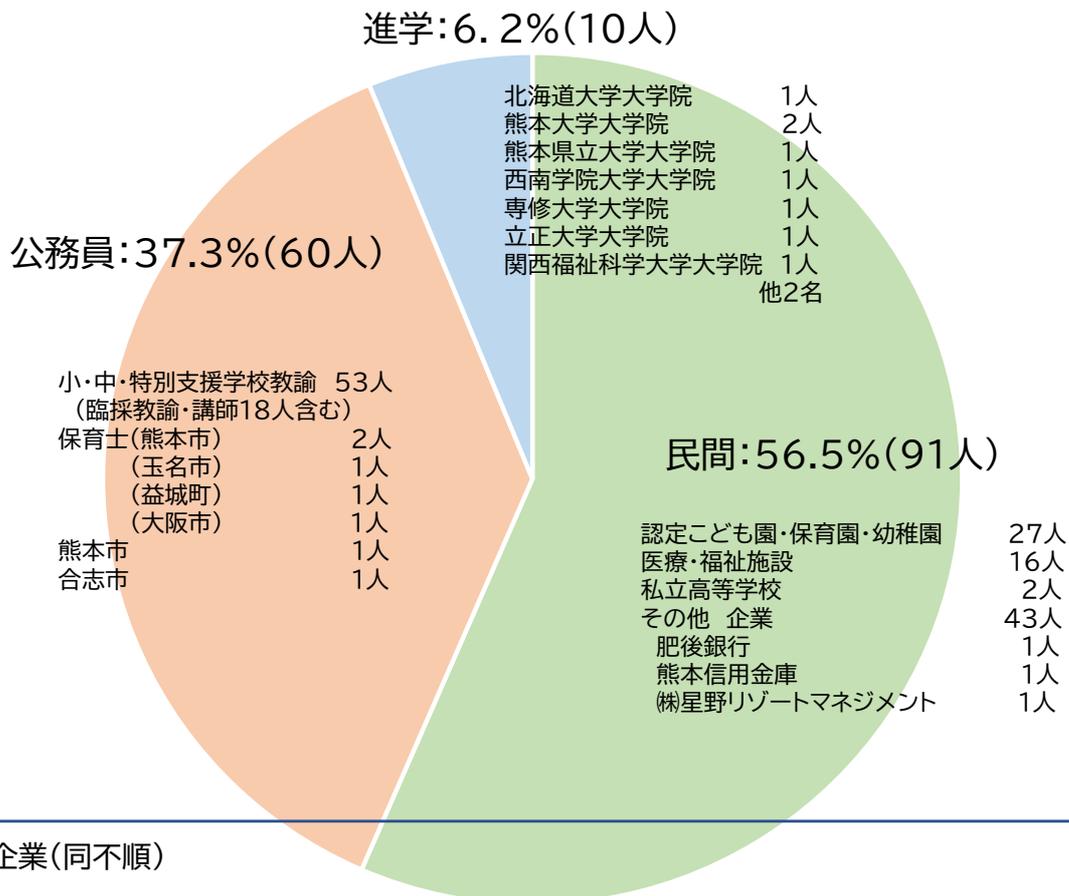
5. 卒業後の進路

2020年度



2020年度卒業生就職希望者：153人 就職：151人
(進学者10人、斡旋不要者19人を除く)

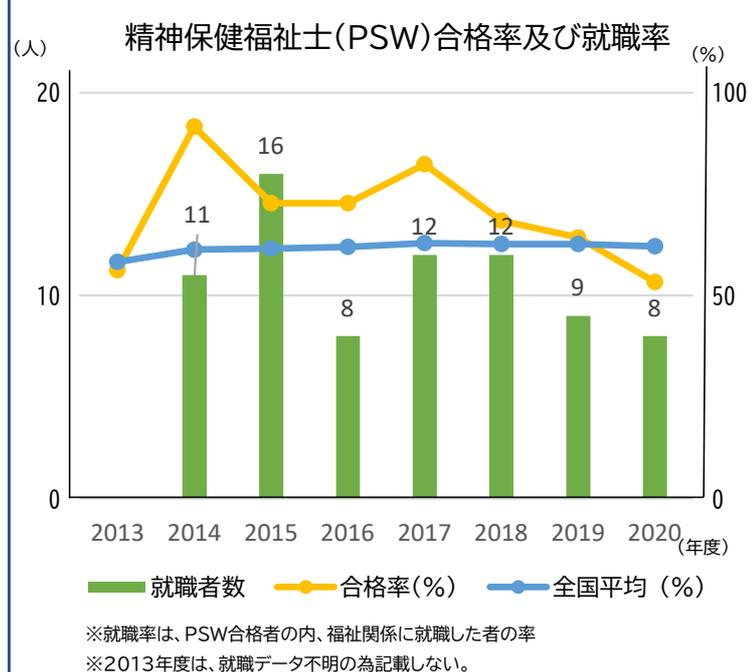
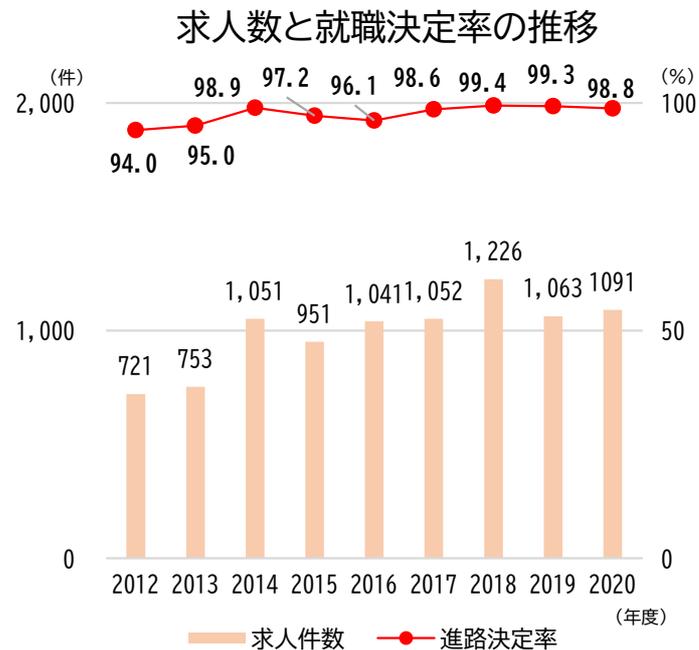
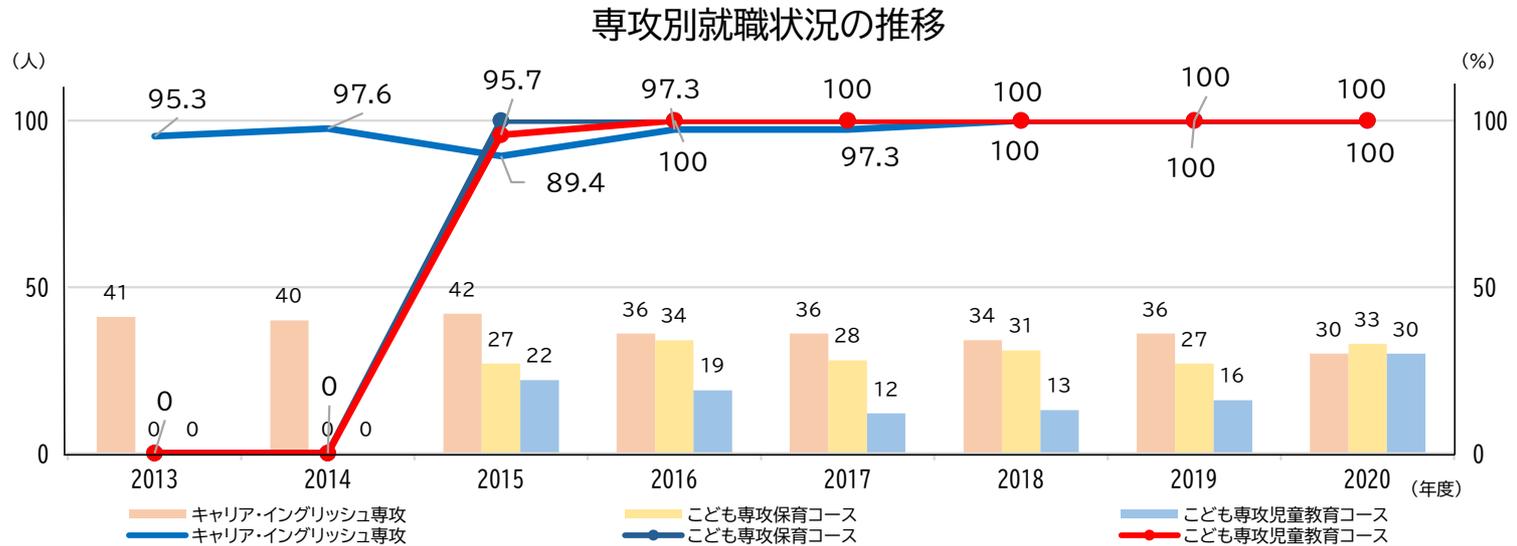
(斡旋不要者内訳：受験準備 9人 就職活動中 1人 就職しない 9人)



就職先:民間企業(同不順)

- ・㈱再春館製薬所・ザ・ホテルエ・グループ万座・㈱星野リゾートマネジメント
- ・㈱肥後銀行・熊本信用金庫・イオン九州㈱・ネットトヨタ熊本㈱
- ・熊本マリスト学園高等学校・文徳高等学校
- ・認定こども園鈴蘭台幼稚園・愛保育園・広福保育園・認定こども園やまなみ・出水幼稚園・豊川保育園・菊池みゆきこども園
- ・社会福祉評議会このみ様保育園・轟保育園・かみのごう保育園プチ・やまばとこども園・西部音楽幼稚園・第二図画保育園
- ・山東こども園・鳳鳴保育園・九州ルーテル学院大学附属黒髪乳児保育園・しらぬい保育園・八代つくし保育園・千代田幼稚園
- ・木の葉こども園・供合保育園・西部音楽幼稚園・第二桜ヶ丘こども園
- ・熊本赤十字病院・社会福祉法人いずみ福祉会・くまもと心療病院・城ヶ崎病院・くまもと青明病院・桜が丘病院・希望ヶ丘病院
- ・児童養護施設慈愛園子供ホーム・㈱スマイルホームひまわり・㈱シアーズホーム・リップル㈱・㈱リブワーク
- ・㈱RKKコンピュータサービス・㈱肥銀コンピュータサービス

5. 卒業後の進路



6. 就職・進路支援

(1) 教職・保育支援センター

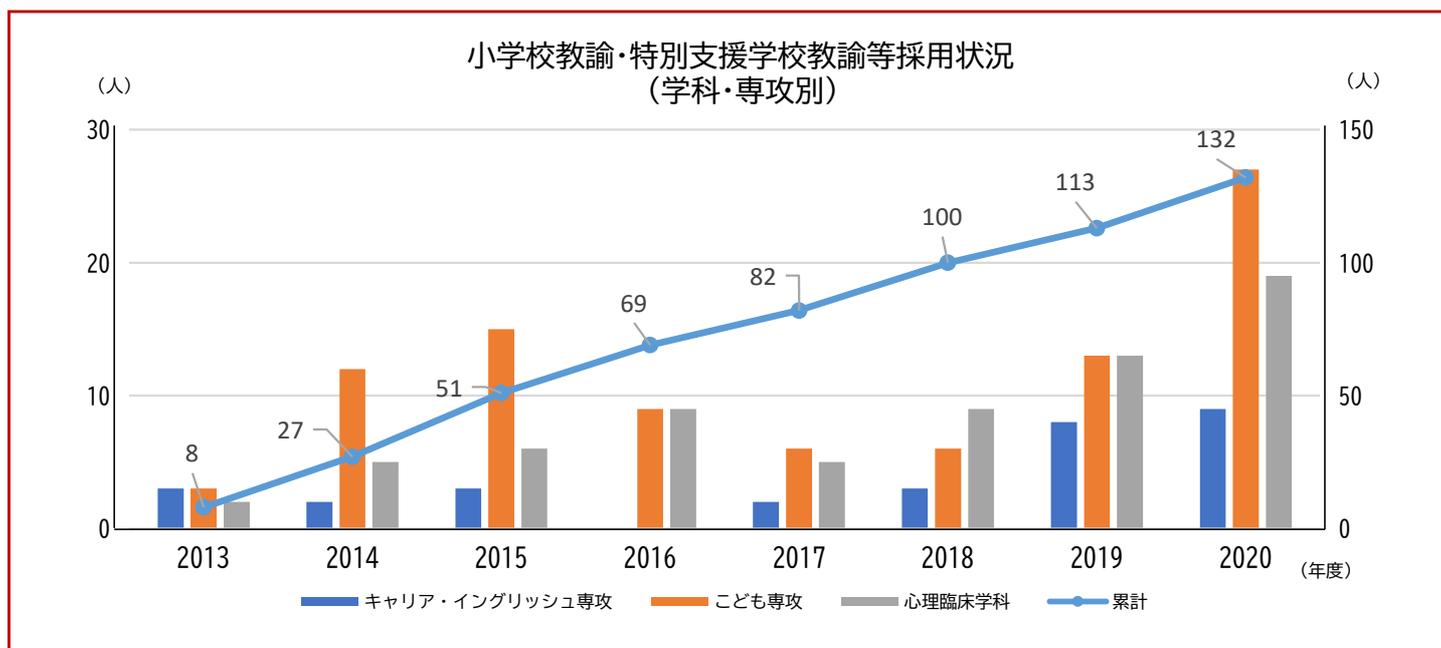
公立学校教員採用試験
「100人」以上の
採用実績



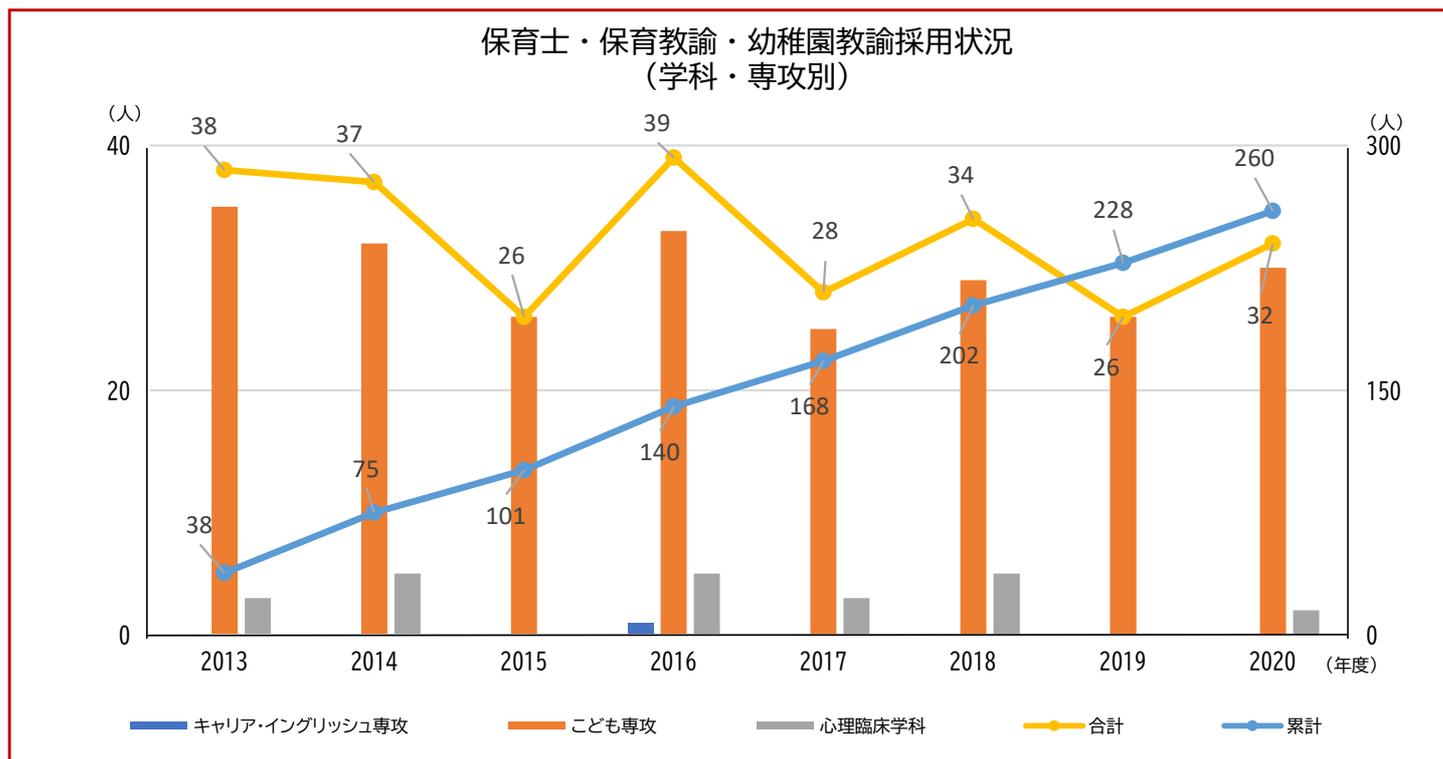
小学校教諭



保育士



保育士・保育教諭・幼稚園教諭
希望者100%就職



6. 就職・進路支援

(2) 就職ガイダンス

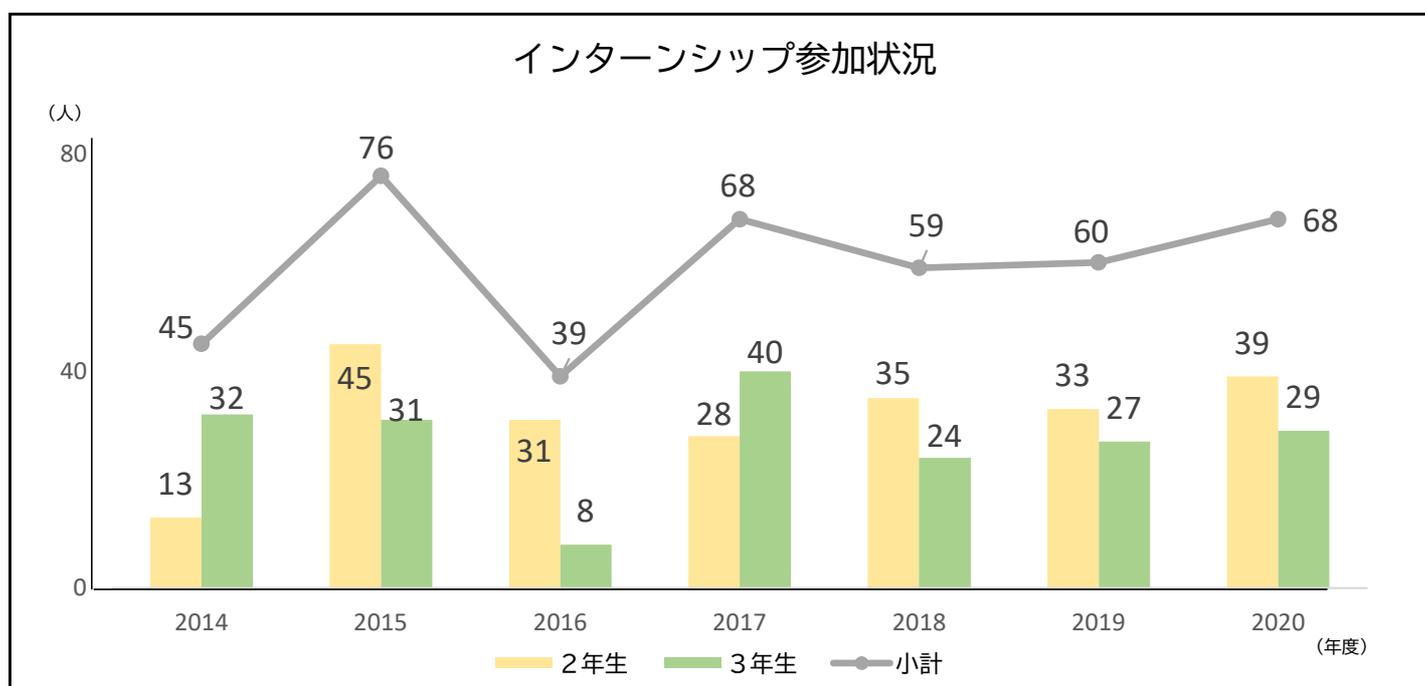


Pap・Lary(就職活動kick off)(3年生)

講座開設状況(2020年度)

講座名	回数	対象
就職対策講座	21	3年生
教員採用試験対策講座	40	3年生から4年生 受験希望者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	14	4年生 受験希望者

Pap・Lary(就職活動kick off)は、2021年度はオンラインで開催しました。



インターンシップ： 地方自治体から、福祉、病院、マスコミ、銀行、保険、運輸等幅広い職種の体験が可能

(3) 資格取得等の状況(2020年度)

資格名	受験者数	合格者	率(%)	備考
TOEIC(730点以上)	260	11	—	参考:英検準1級と同等
精神保健福祉士	17	9	64.2	全国平均 62.7%
保育英語検定	12	6	50.0	
Word文書処理技能認定	111	100(3)	90.1	()は、1級合格者
Excel表計算処理技能検定	17	15(3)	88.2	()は、1級合格者
サービス接客検定	38	31	81.6	全国平均 69.1%
秘書検定	24	13	54.7	全国平均 60.7%

7. 教育

共通教育	特色	
	キリスト教教育	・キリスト教主義学校独自の必修科目 ・日々の礼拝や記念礼拝への参加
	グローバルスタディーズ	・社会のグローバル化、異文化理解、グローバル課題(SDGs)を学ぶ必修科目
	異文化体験(短期海外留学)	・海外で学べる複数の体験型プログラム(オンライン学修を含む)
	統計学	・熊本大学と連携したデータサイエンス教育科目
	秘書学	・秘書検定、ビジネス電話実務検定に直結する学修が可能 (ビジネス電話実務検定 文部科学大臣賞受賞 平成27年度、令和元年度)
	職場体験(インターンシップ)	・熊本県内外の企業と提携した職場体験学修(インターンシップ)
	ボランティア活動	・ボランティア体験学修

人文科学	専攻	キャリア・イングリッシュ	こども	
	コース	—	保育コース	児童教育コース
	特色	・英語習熟度別クラス編成 ・地元企業と連携したビジネスの学び	・特別支援教育に対応できる保育士、幼稚園教諭、保育教諭の養成	・特別支援教育に対応できる小学校教諭の養成
	免許・資格	・中学・高等学校(英語)教諭一種免許状	・保育士 ・幼稚園教諭一種免許状	・小学校教諭一種免許状
	条件付で取得可能な免許・資格	・小学校英語指導者資格(J-SHINE)		
	主な就職先	・商社貿易系企業 ・国際交流機関・団体 ・航空業界 ・キャビンアテンダント ・グランドスタッフ ・小学校、英会話教室	・保育園 ・幼稚園 ・こども園 ・熊本市等の地方自治体	・小学校 ・特別支援学校 ・中学校・高等学校 ・熊本市等の地方自治体
	主な進学先	・熊本大学大学院 等		・熊本大学大学院 等

心理臨床学	特色	公認心理師等心理職養成	特別支援学校教諭養成	精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー養成
	免許・資格	・認定心理士 ・高等学校(公民)教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状(知的障害、肢体不自由、病弱者)		
	条件付で取得可能な免許・資格	・精神保健福祉士(PSW) ・スクールソーシャルワーカー		
	主な就職先	・医療機関	・小学校 ・特別支援学校	・医療機関 ・福祉事業所
	主な進学先	・北海道大学大学院・熊本大学院・熊本県立大学大学院・西南学院大学大学院・専修大学大学院 ・立正大学大学院・九州ルーテル学院大学大学院・関西福祉科学大学大学院等		

人文学研究科	専攻	障害心理学(修士課程)	
	特色	発達障害学領域	心理臨床学領域
		多様な授業形態 昼夜開講制とし、さらに土曜日や休日の開講、夏期・冬期休業期間における集中講義	
免許・資格	特別支援学校専修免許状		

8. 地域貢献

(1) ボランティア活動

活動実績		
活動団体等	活動内容等	活動場所等
ダウン症支援部	ダウン症の方との療育活動と余暇活動	毎週土曜日 熊本県身体障がい者福祉センター 2020年度 YouTube動画配信
自閉症支援部	自閉症児の子どもたちへの療育活動	本学内 2020年度 YouTube動画配信
子育て支援部 「くれよん」	小学部と幼稚部に分かれ子育て支援活動を実施	土日を中心 リクエストがあれば県内どこでも
金曜教室 「発達障がいのある児童生徒の学習支援活動」 心とそだちの臨床研究所(ジャニス)	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障がいのある小・中・高校生を対象として、本学学生・大学院生等による学習支援活動と、教員と外部の専門家による保護者支援の実施	毎週金曜日18:30-20:20 本学4号館、2号館
ルーテルかよう会	「ささえりあ浄行寺」と合同で介護予防教室を実施	毎週火曜日 本学ボランティアセンター
熊本支援の会	路上生活者へのおにぎり配り	12月
ワクチン接種 インターネット予約サポート	黒髪校区・硯台校区の65歳以上の方の新型コロナウイルス予防接種のインターネット予約サポート等を実施	5月から6月
黒髪12町内の災害避難マニュアル作成委員会	黒髪12町内の地域住民と社会福祉士、本学学生による災害避難マニュアルの作成及び地域への提案	本学内



自閉症支援部 クリスマス会
(熊本県自閉症スペクトラム協会主催)



ルーテルかよう会 体力測定
熊本市(九州ルーテル学院)



ダウン症支援部療育キャンプ
(阿蘇市)



おにぎり配り
熊本支援の会(熊本市)

2021年度 ボランティア実績(抜粋)

月 日	ボランティア先	ボランティア内容	人数
5月31日	硯台地域コミュニケーションセンター	ワクチン接種 インターネット 予約サポート	7人
6月 1日	硯台地域コミュニケーションセンター		7人
6月 2日	硯台地域コミュニケーションセンター		4人
6月 3日	硯台地域コミュニケーションセンター		8人
6月 4日	硯台地域コミュニケーションセンター		5人
6月19日	硯台地域コミュニケーションセンター		6人
6月20日	硯台・黒髪地域コミュニケーションセンター		5人



ワクチン接種インターネット予約サポート

8. 地域貢献

(2) 公開講座実施状況

対面講座、オンライン講座、YouTube配信による講座等
 コロナ禍の中でも、今できる最善の方法を模索しつつ、
 公開講座を行っています。



親子サイエンス大実験カレッジweb版

①大学主催講座

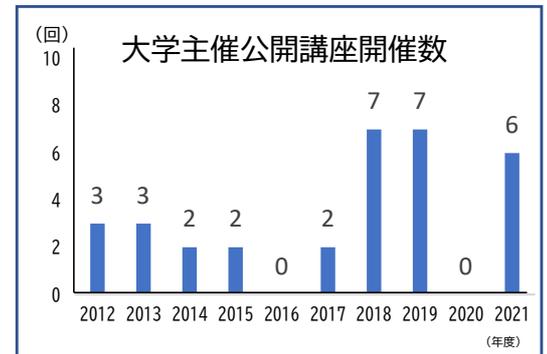
2021年度 公開講座一覧

講座名	回数・期間	受講生数・再生回数	備考
「Let's play in English」	1	15人	対面実施
親子サイエンス大実験カレッジWeb版	期間限定	379回	YouTube配信
障がいのある学生の修学支援に関する講演会	1	53人	対面実施
学内樹木探訪Web公開	期間限定	48回	YouTube配信
「金陽会」の作品展を通して伝えたいこと	10/30-11/4	40人	対面実施
～大学生と一緒に考えよう～フィンランドはなぜ「世界一幸せな国なのか？」	1	70人	オンラインで実施

②大学の授業公開 今年度から、本学の特色ある授業の一部を地域住民の方に開放しています。

2021年度 公開授業一覧

講座名	回数	受講生数	備考
キリスト教Ⅱ	15	4人	オンデマンド配信
キリスト教と文学	15	中止	



(3) 公開講座実施状況

① 外部機関での公開講座



「金陽会」作品展「知らない」を見に行こうVol.4」

2021年度 外部機関での公開講座

講座名	主催	受講者数
地域の家族見守りサポーター養成講座	合志市 女性・こども支援課	44人
わくわく理科実験	熊本県生涯学習推進センター	熊本障害学習推進センターチャンネルにて配信
「国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ「金陽会」作品展「知らない」を見に行こうVol.4」	国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ「金陽会」	一般公開

8. 地域貢献

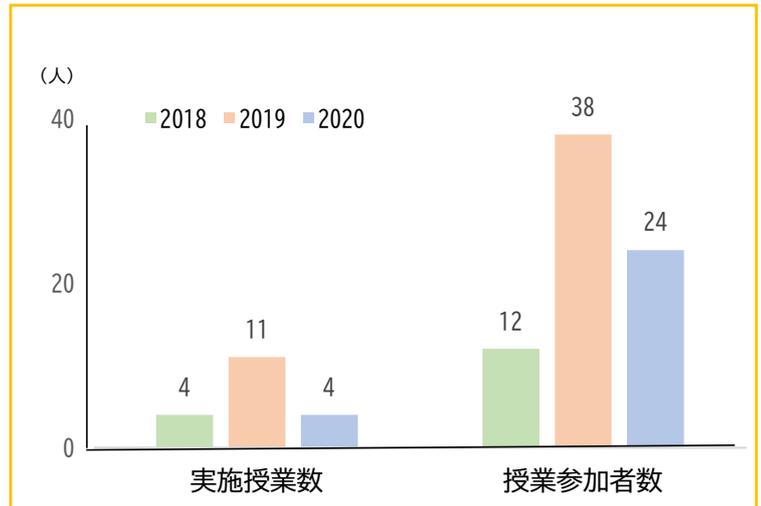
(4) 高大接続・連携

大学キャンパスVisit&Try

高校生が、「本学での学びやサークル活動」に触れ、知的好奇心の喚起や大学教育への円滑な接続の機会にするとともに、進路選択の一助とする。

(2018年度からルーテル学院高等学校と実施)

2021年度はコロナ禍により中止



2020年度 実施状況

授業名	目標	受入人数	参加人数
環境学	地球46億年の歴史と環境の関連を学修する。	10	2
Advanced English Communication	自分のホームタウンについて英語で発表する。	6	7
心理学実験	心理的な現象とその仕組みを実験や適切なデータ分析手法であきらかにし、論理的に文章を構成し報告する。	10	12
心理実習Ⅱ	実習に必要な準備、記録等の作成方法、実習先を理解するための情報収集などの実習前の学修を行います。公認心理師養成カリキュラムで必須になる心理実習科目です。	5~6	3



授業風景(環境学)



授業風景(心理実習Ⅱ)



授業風景
(Advanced English Communication)



授業風景(心理学実験)

8. 地域貢献

(5) 包括連携協定

① 地方自治体との包括連携等

自治体名	主な活動内容	締結日
菊陽町	・小学校外国語活動学生ボランティア派遣	2010年6月
合志市	・ソーシャルワーカー派遣 ・地域の家族活動見守サポーター養成講座(昼・夜)	2014年11月
和水町	・こどもフェスティバルin和水 ・なごみ物産展inルーテル	2016年 4月
菊池市	・「こころの問診票」の実施(菊池市内小中学校) ・菊池市不登校対策研修会講話	2019年3月

② 学校との包括連携等

学校名	主な活動内容	締結日
熊本大学	・数学・統計学・データサイエンス教育の連携 ・学修効果に関する情報共有	2019年12月
ルーテル学院大学	・研究プログラムの共同構築	2019年 1月
熊本県立ひのくに高等支援学校	・園芸活動 ・交流会	2018年 7月

(6) 自治体等への協力(一部抜粋)

内 容	委 嘱 団 体 等	協力者
熊本市男女共同参画センターはあもにい運営審議委員	熊本市男女共同参画センター	広渡 純子
熊本県教育振興基本計画推進委員	熊本県教育委員会	河田 将一
熊本市教育委員会就学支援委員	熊本市教育委員会	
熊本市教育委員会特別支援教育専門家チーム委員	熊本市教育委員会	
(一社)日本LD学会常任理事 兼被災地支援委員長	(一社)日本LD学会	
日本学校心理士会熊本支部支部長	日本学校心理士会熊本支部	
宇土市教育委員会いじめ防止等対策委員会委員長	宇土市教育委員会	緒方 宏明
菊陽南中学校スクールカウンセラー	熊本県教育庁	
熊本市保育幼稚園課審査部会委員	熊本市保育幼稚園課	
菊池市教育委員会スクールサポートチーム委員	菊池市教育委員会	
菊池市教育委員会不登校対策協議会委員	菊池市教育委員会	
日本文芸学会理事	日本文芸学会	金戸 清高
阿蘇学会理事・研究紀要編集委員会委員長	阿蘇学会	坂本昌弥
熊本市教育委員会作品審査委員長	熊本市教育委員会	
日本保育ソーシャルワーク学会事務局長	日本保育ソーシャルワーク学会	永野 典詞
日本福祉図書文献学会常任理事	日本福祉図書文献学会	
熊本県社会福祉審議会審議委員	熊本県社会福祉審議会	
合志市まち・ひと・しごと創世総合戦略有識者会議構成員	合志市まち・ひと・しごと創世総合戦略有識者会議	
合志市保育園選定委員選定委員	合志市保育園選定委員会	
熊本日日新聞社客員論説解説員	熊本日日新聞社	春木 進
熊本県女子体育連盟理事	熊本県女子体育連盟	井崎 美代
芦北町立星野富弘美術館美術館専門委員会委員	芦北町立星野富弘美術館	犬童 昭久
大学コンソーシアム熊本 男女共同参画推進委員会委員長	大学コンソーシアム熊本男女共同参画推進委員会	香崎 智郁代
日本認知療法・認知行動療法学会常任編集委員	日本認知療法・認知行動療法学会	有村 達之
日本慢性疼痛学会理事	日本慢性疼痛学会	

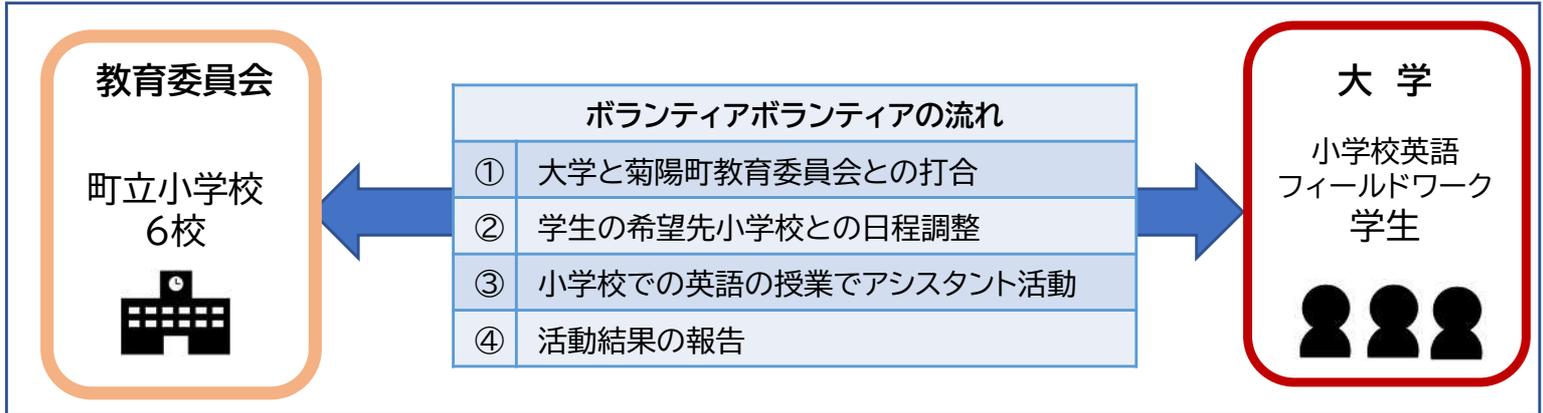
8. 地域貢献

(5)包括連携協定 主な活動

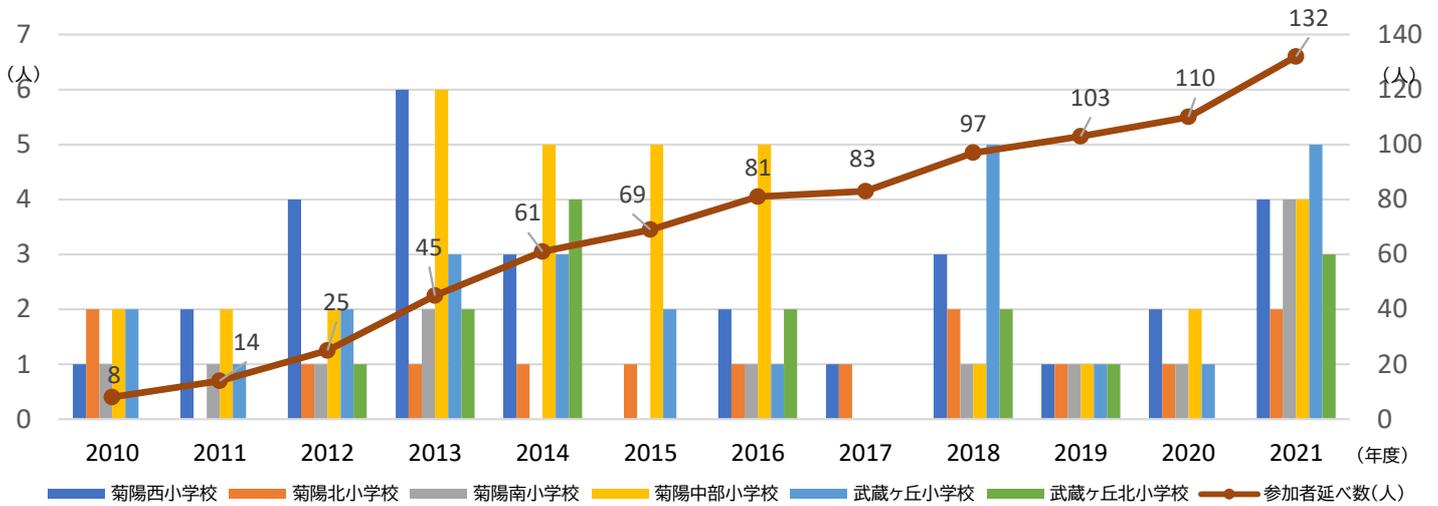
①小学校外国語活動学生ボランティア派遣 (菊陽町教育委員会との連携活動)

「菊陽町教育委員会と九州ルーテル学院大学との連携協力に関する協定書」に基づき、人文学部キャリア・イングリッシュ専攻の小学校英語フィールドワークⅠ、Ⅱを受講している学生が、各小学校と直接打ち合わせ等を行い、外国語の授業時に担当教諭の補助として、教室内で児童と一緒に活動します。

この活動は、小学校外国語教育のアシスタントだけでなく、教育実習以外で、教育現場を体験する貴重な時間となっています。



年度別・学校別推移及び累計



(2021年3月末時点月調査 本学調べ)

2021年度 小学校英語ボランティア 参加状況

小学校(校)	参加者(人)
菊陽西小学校	4
菊陽北小学校	2
菊陽南小学校	4
菊陽中部小学校	4
武蔵ヶ丘小学校	4
武蔵ヶ丘北小学校	2
合計	7



活動状況①



活動状況②

8. 地域貢献

②地域の家族見守りサポーター養成講座 (合志市福祉部女性・こども支援課との連携活動)

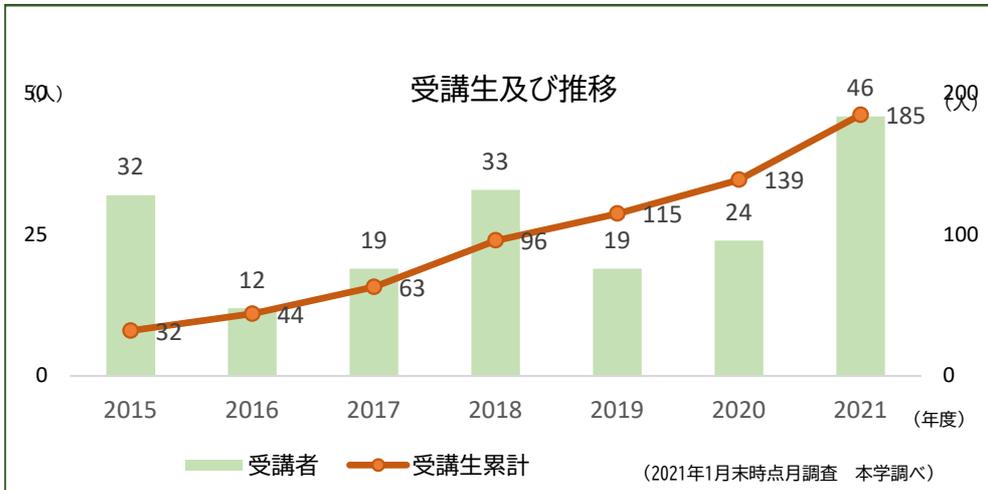
「地域社会発展のための包括的連携に関する基本協定書」に基づき、2015年から合志市女性・子ども支援課主催の「地域の家族見守りサポーター養成講座」に、企画から講師派遣までを行っています。講座終了後に、受講者アンケートを実施し、その結果を毎年3回開かれる合志市福祉協議会の中で、活動状況と共にを報告し、次年度の活動方針を協議しています。

また、2018年度からは、登録サポーターを対象とした「フォローアップ研修」(2回)を実施しており、現場のサポーターの情報交換の場を設けています。2021年度は、新型コロナ感染症対策のため、全3回の講習となりましたが、オンラインと対面での受講を行いました。

この養成講座の受講後、サポーターの方々への幅広い活動支援が今後の課題となっています。

2021年度 地域の家族見守りサポーター養成講座

No.	1	2	3
題名	子どもを取り巻く現状	虐待児のこころと身体について	地域における気づきと支援
講師	永野典詞教授	古賀香代子教授	岩永靖准教授
開催日	11月1日	11月9日	11月16日
午前の部	30人	32人	28人
夜間の部 (対面)	6人	4人	7人
夜間の部 (オンライン)	7人	8人	10人
参加者合計	42人	44人	45人



子どもたちを地域で見守る 地域の家族見守りサポーター養成講座 (全3回)

子どもたちを取り巻くさまざまな社会問題、虐待、児童虐待など、身近になる事象や心当たりのある子どもがいる場合、地域に多くの「気づきの目」があれば早期発見・早期解決につながります。

地域への目配り・気配りのできるサポーターとして、子どもたちが安全・安心に暮らせる環境づくりにご協力をお願いします。

受講生
募集中!

	とき	内容
第1回目	11月1日(月)	『子どもを取り巻く現状』 九州ルーテル学院大学 永野 典詞先生
第2回目	11月9日(火)	『虐待児のこころと身体について』 九州ルーテル学院大学 古賀 香代子先生
第3回目	11月16日(火)	『地域における気づきと支援』 九州ルーテル学院大学 岩永 靖准先生

●とき 上夜のとおり(全3回)
午前の部：午前10時～11時30分
夜間の部：午後 7時～ 8時30分
※内容は、午前の部、夜間の部どちらも同じです。どちらに参加しても構いません。
※夜間の部は、オンライン受講も可能です。詳しくはお問合せください。

●ところ 午前の部 合志市防災センター2階 連絡所
夜間の部 総合センターグリーンプラザ 2階研修室 または オンライン受講
※託児はありません。

●対象 合志市内在住者または合志市内に勤務する人で、3日間の講座を全て受講できる人

●参加費 無料
●申込方法 電話でお申し込みください。
(募集人数 先着30人)
●申込期限 10月8日(金)

～過去の参加者の声～
・児童虐待の現状を学び、子どもたちの様子を見ることができるようになった。
・子どもと接する際の心がけや気を付けているようになった。

申し込み・問い合わせ先 合志市役所 女性・子ども支援課
☎096-248-1199

この養成講座は、九州ルーテル学院大学との包括連携事業の下で実施するものです。

受講生募集案内(合志市)



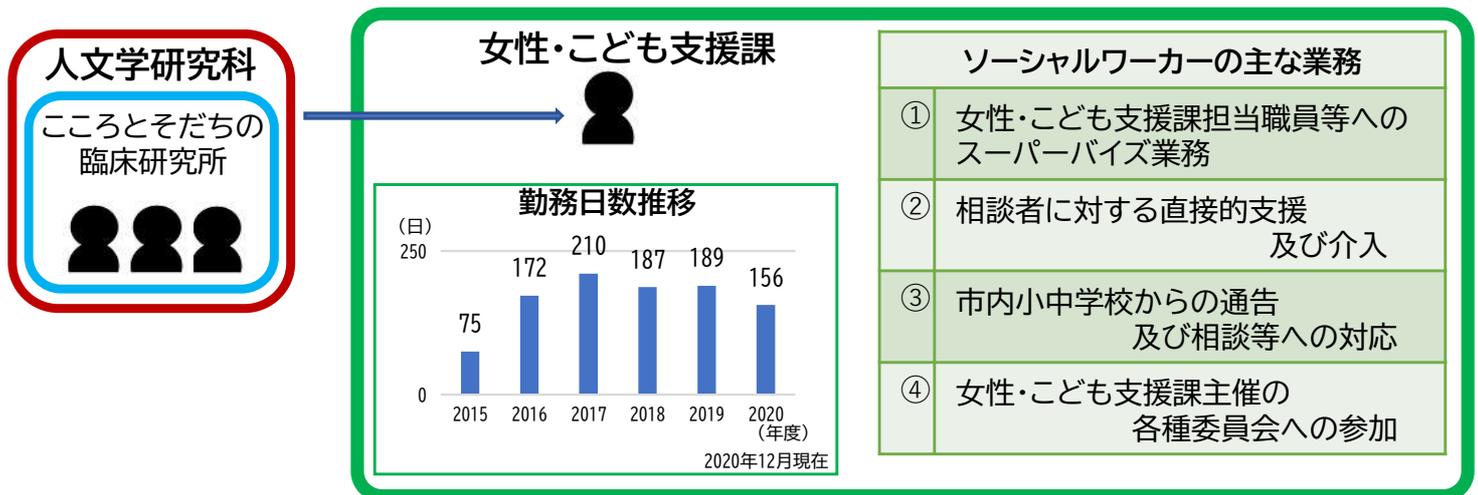
地域の家族見守りサポーター養成講座

年間の流れ

- 協議会で活動計画を決定
- 女性・子ども支援課と本学と講座内等の調整
- 合志市広報誌、ホームページ等を通し受講案内
- 養成講座(3回)
- 受講終了後アンケート実施・結果を分析
- 協議会にて活動報告を実施

③ソーシャルワーカー(SW)派遣事業 (合志市福祉部女性・こども支援課との連携活動)

「地域社会発展のための包括的連携に関する基本協定書」に基づき、平成27年から合志市女性・子ども支援課に、ソーシャルワーカーとして、精神保健福祉士の資格持つ、職員を派遣しています。当初、週2日の派遣で、始めましたが、現在は、週4日(月16日前後)に増加しています。
なお、本事業は合志市へ発展的に継承されています。



④こどもフェスティバルin 和水町 (和水町との連携活動)

「九州ルーテル学院と和水町との連携に関する協定書」に基づき2017年度から「こどもフェスタin和水」として「こどもフェスティバルin和水町」を開催しています。

「こどもフェスティバルin和水町」は、

こども専攻保育コースの学生が、幼児とその保護者を対象に、オペレッタ公演(児童劇等)を行います。

和水町からは、九州ルーテル学院大学ホームカミングディ(毎年11月3日)に地場産物の販売を出店していただいています。

2020年度・2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。



こどもフェスティバル

⑤学校現場で苦戦する子どもたち、その保護者、教師に対して適切な対応を行うための教育支援事業

(菊池市教育委員会との連携活動)

「菊池市と九州ルーテル学院大学との地域社会発展のための包括的連携に関する協定書」に基づき、平成31年から、菊池市教育委員会を主体として、「こころの問診票アンケート」を、菊池市全小中学校を対象として、年2回実施しています。このアンケートは、学校現場でのいじめ等の早期発見の1つの手段として用いられています。本学はこのアンケートの集計と分析を行っており、年3回行われる菊池市不登校対策研修会でアンケートについての説明や現場の先生方からの相談に対応しています。2021年度からは、タブレットを使用した情報端末でアンケートを実施しています。

年間の流れ	
5月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会
5月～7月	菊池市内35校の小中学校を対象として第1回目「こころの問診票アンケート」実施
7月～8月	アンケートの集計、分析
9月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会
9月～10月	菊池市内35校の小中学校を対象として第2回目「こころの問診票アンケート」実施
11月	アンケートの集計、分析
1月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会

	2019年度	2020年度	2021年度
不登校対策協議会研修会 参加者数	延べ105人 35人×3回	延べ105人 35人×3回	延べ105人 35人×3回
こころの問診票アンケート実施 小・中学校数	小学校10校 中学校5校	小学校10校 中学校5校	小学校10校 中学校5校
こころの問診票アンケート対象 児童・生徒数 (小学校3年から中学校3年まで)	約3500人	約3500人	約3500人



第1回不登校協議会研修会(2020年度実施)

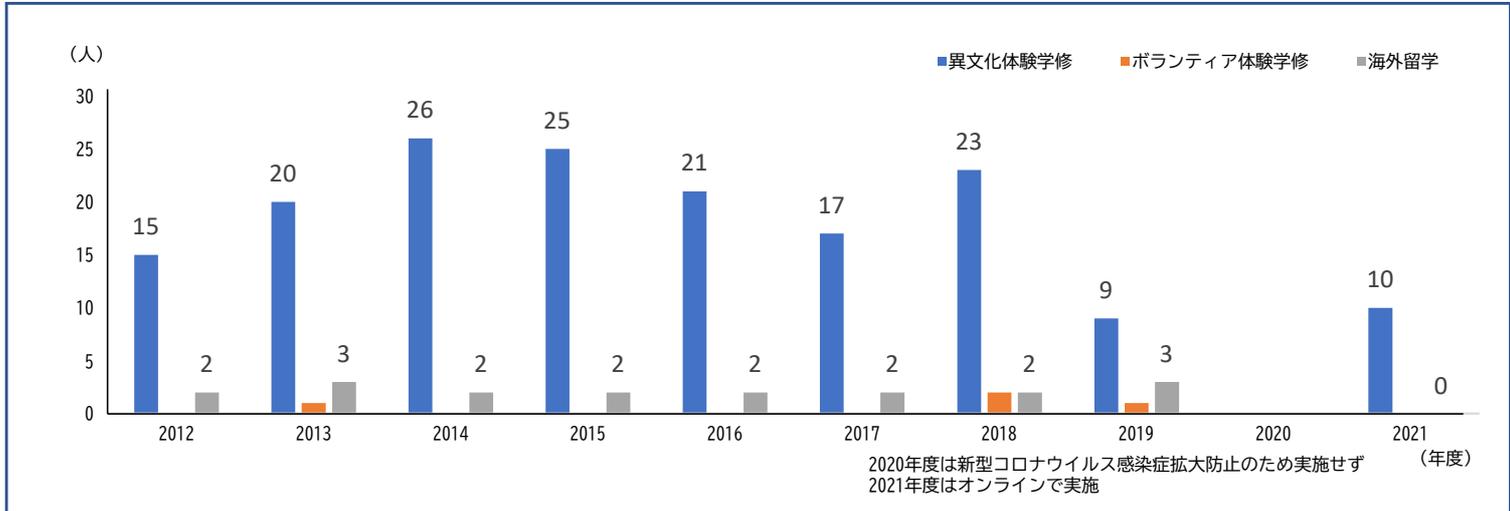


第2回不登校協議会研修会(2019年度実施)

9. 国際交流

異文化体験・海外留学制度

(1) 異文化体験・海外留学者数



(2) 奨学金制度

制度名	内容	対象	返済義務
ムラサキスポーツ奨学金制度	バートン&サウスダービシャーカレッジへの留学希望者	2名/年	なし
海外留学奨学金制度	異文化体験学修プログラム参加者のうち語学研修者のみ	10万円 最大5名/年	なし
海外体験学修奨学金制度	異文化圏での体験を通じて英語を学習する者	最大20万円 10名/年程度	なし

(3) 異文化体験学修 一覧

	大学名	国	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
1	Induk University(インドク大学)	韓国			1	2				-	
2	平澤大学(ピョンテク大学)	韓国	1							-	
3	Holden Village(ホールデン・ヴィレッジ)	アメリカ								-	
4	Grunewald Guild(グリーンウォルド ギルド)	アメリカ	10	7	2	4	3	1		-	
5	アシスタントティーチャーインターンプログラム	アメリカ	3	3	1	2	5	4	2	-	
6	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア	4		5		1	3	4	-	
7	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	2	4	11	12	5	6		-	8
8	Curtin University(カーティン大学)	オーストラリア					3	5	3	-	
9	Bourn ville College(ボーンビル大学)	イギリス		12						-	
10	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス			5	1		4		-	
11	Wakatō University (ワイカト 大学)	ニュージーランド								-	2
	合計		20	26	25	21	17	23	9	-	2

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず
2021年度はオンラインで実施

9. 国際交流

異文化体験・海外留学制度

(4) ボランティア学修参加者 一覧

2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

	機関名	国	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
1	India(日本福音ルーテル社団)	インド						2			
2	Cambodia(日本福音ルーテル社団)	カンボジア	1						1		
	合計		1					2	1		

(5) 海外留学参加者 一覧

2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

	大学名	国	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
1	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア		1							
2	Induk University(インドク大学)	韓国	2						1		
3	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス			2※	2※	2※	2※	2※		
4	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	1※	1※							
	合計		3	2	2	2	2	2	3		

(6) 異文化体験発表会

※ムラサキスポーツ奨学生制度利用

プログラムに参加したい希望者等に、異文化体験学修、ボランティア体験学修、海外留学に参加した学生が、体験談を発表します。



2019年度異文化体験学修・ボランティア体験学修・海外留学参加者

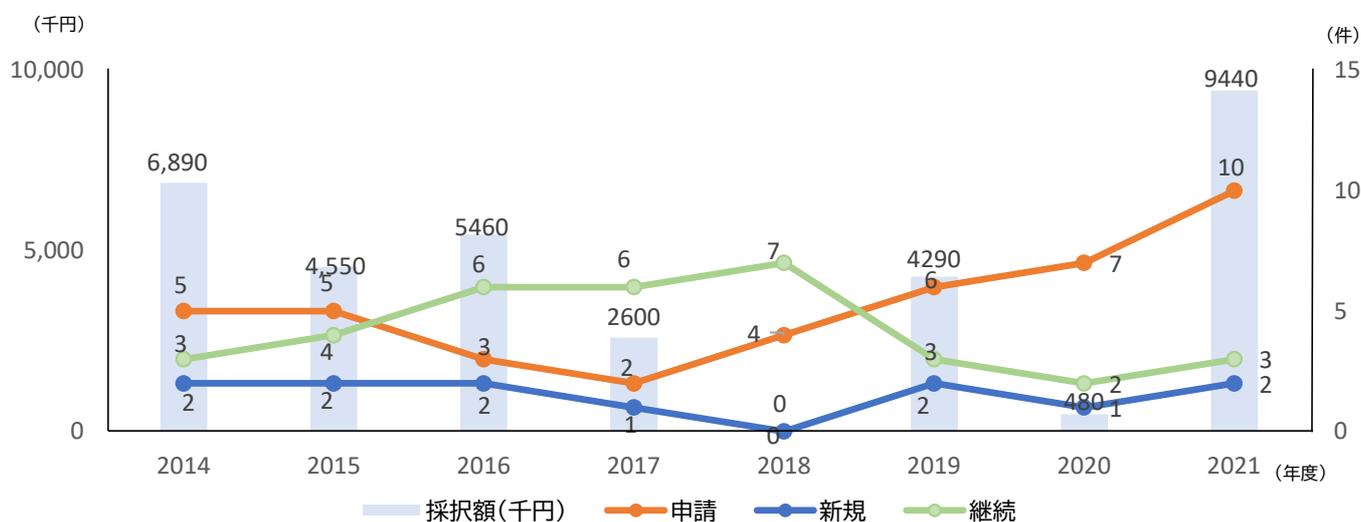


2019年度 異文化体験学修参加者体験発表会

10. 研究

(1) 研究助成金等

① 科学研究費補助金採択状況



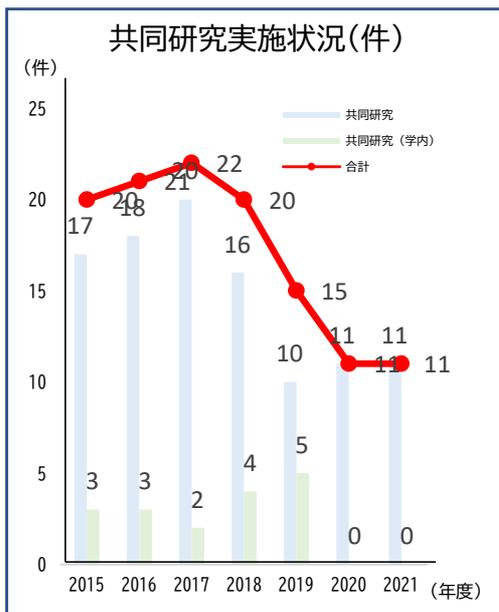
② 2021年度科学研究費補助金採択事業(継続・分担者含)

氏名	事業名	期間	研究費区分
坂本 昌弥	理科教育における指定記念物を活かした地域の教材化とその方法の確立	2021-2025	基盤C
三井 真紀	フィンランドの保育における多文化共生の原理 -学び・政策・まなざし-	2021-2024	基盤C
有村 達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証	2019-2021 (継続中)	基盤C
和田 由美子	幼児におけるネガティブでない泣きの表出と理解の発達	2017-2019 (継続中)	基盤C
増本 利信	読み書き困難児の特異な眼球運動の実態と、 眼球運動トレーニングが及ぼす効果研究	2020 (継続中)	奨励研究
岩永 靖	子どもの課題スクリーニングからの支援・効果まで循環するシステム	2019-2024 (分担者)	基盤A
岡田 洋一	アルコール依存症の「回復の物語」をその家族はいかに経験するのか	2019-2021 (分担者)	基盤C
岡田 洋一	ネット依存症の課題に対応した家族教育のプログラムの作成	2018-2021 (分担者)	基盤C
三井 真紀	多文化保育における保育者の「困り感」改善モデル構築 :人材育成・方法・ネットワーク	2021-2023 (分担者)	基盤B
赤井 秀行	グローバルLESSNSTAディによる教員の資質・能力の向上に関する実証的研究	2019-2021 (分担者)	基盤C

10. 研究

共同研究実績(2021年2月現在)

(2) 共同研究

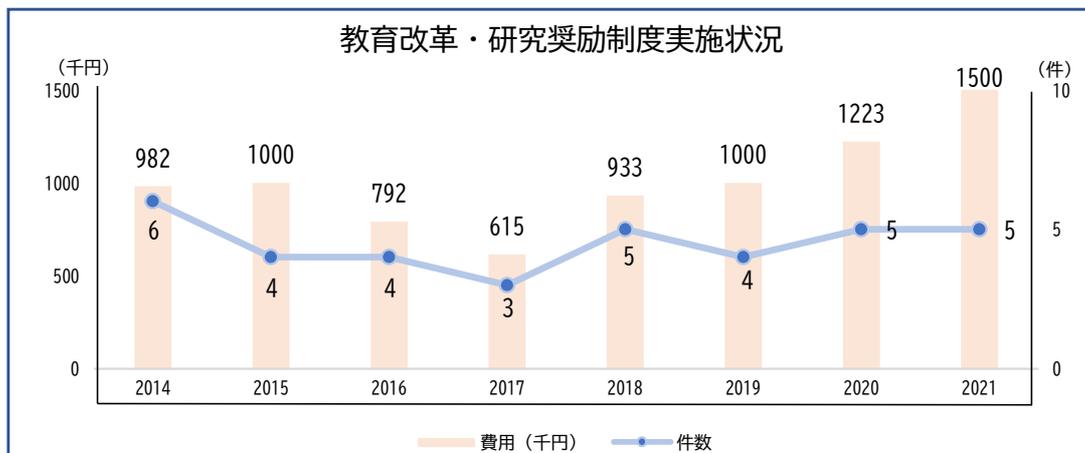


氏名	研究テーマ
犬童 昭久	トランスの創造性テストの再考と試行Ⅲ —児童期(9~10歳児)における調査と分析—
増本 利信	日本語を母語とする大学生の英語理解力と音読時の眼球運動に、各認知機能が及ぼす影響
赤井 秀行	1人1台端末によるコミュニケーションを通じた中学校数学科における資質・能力の向上
岩永 靖	子どもの課題スクリーニングからの支援・効果まで循環するシステム
岡田 洋一	アルコール依存症の「回復の物語」をその家族はいかに経験するのか
岡田 洋一	ネット依存症の課題に対応した家族教育のプログラムの作成
有村 達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証
三井 真紀	多文化保育における保育者の「困り感」改善モデル構築 :人材育成・方法・ネットワーク
三井 真紀	多文化保育における保育者の「困り感」と配慮について —「多文化保育とその研修に関する実態研究」全国調査を基に—
三井 真紀	多文化保育における保育者の「困り感」改善モデル構築
田中 将司	対面と遠隔を組み合わせさせたグループ活動に必要な配慮-2事例に基づき探索的検討-(口頭発表)

(3) 学内競争的資金

(A)九州ルーテル学院大学教育改革・研究奨励制度

教育改革及び個人研究等を奨励するため、当該活動に要する費用を助成



熊本県
不登校支援団体ガイドブック
(研究実績)

研究実績(2021年度)

年度	研究テーマ	研究者
2021	子どもの自閉傾向と感覚の感受性・鈍感性—内受容感覚と外受容感覚の異なる影響—	久崎 孝浩
	英語運用能力評価におけるICTの活用法と、絵カードの有効な活用法	島内 直英
	オンライン授業における学習者の満足度・理解度に与えるコンテンツの影響について	永野 典嗣
	教員養成課程におけるICT活用指導力の育成に関する研究—新たな講義モデルの設計—	赤井 秀行
	日本語を母語とする大学生の英語理解力と音読時の眼球運動に、各認知機能が及ぼす影響	増本 利信

(B)九州ルーテル学院大学学内研究助成制度(2021年度~)

外部競争的資金に応募した研究者へ、さらなる研究を奨励するために2021年度から新設

2021年度 助成人数10人 助成額89.4万円

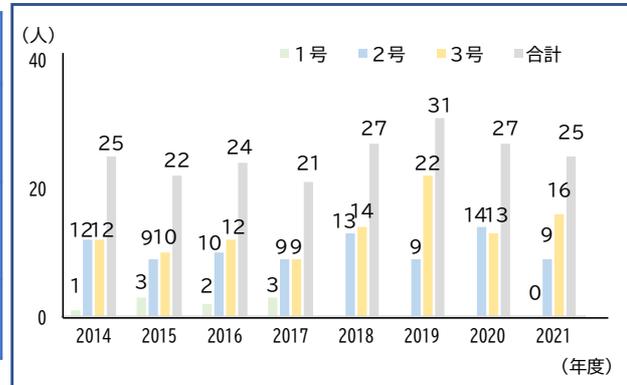
1.1. 学生生活

(1) 九州ルーテル学院大学奨学金（通称KLC奨学金）

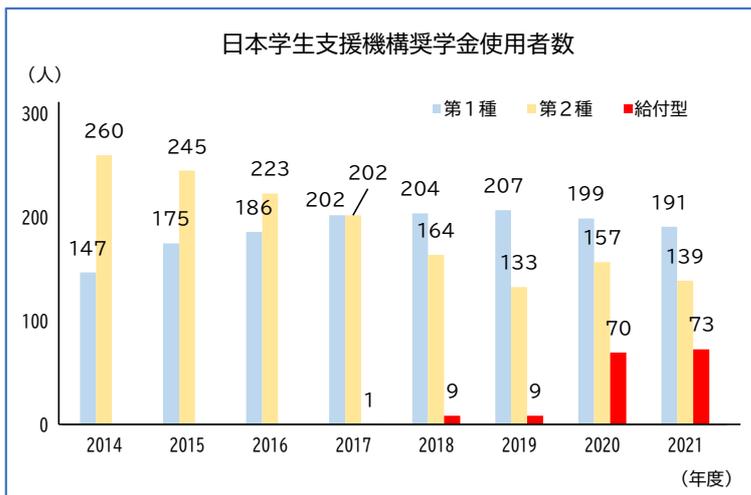
種別：給付型(返済の必要なし) 給付額：当該授業料に対する率

九州ルーテル学院大学奨学金給付状況

種別	給付額	人数	条件	実績(2020)	実績(2021)
1号	100%	2人以内	成績・品行・学生生活が特に優秀であり、かつ、他の学生の模範となり、経済的にも援助が必要とする者	0人	0人
2号	50%	各学年4名以内		14人	9人
3号	10万円	各学年8名以内		13人	26人

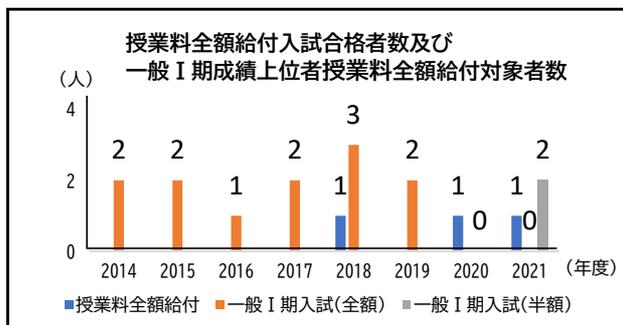


(2) 各種奨学制度利用状況



名称	利用者数(延べ人数)		
	2019年度	2020年度	2021年度
日本学生支援機構奨学金(1種)	207	199	191
日本学生支援機構奨学金(2種)	133	157	139
日本学生支援機構奨学金(給付型)	9	70	73
熊本県保育士修学資金貸付事業	10	4	9
熊本市奨学金	1	1	0
文部科学省「学びの継続」のための学生支援緊急給付金	-	72	16
民間奨学金：壽崎育英財団	4	3	3
民間奨学金：内村チカ育英財団	1	1	0
民間奨学金：鶴友奨学会	1	0	0
民間奨学金：キリスト教保育連盟	1	0	0
合計	367	507	

(3) 入試制度による奨学金



KLC奨学金授与式



KLC奨学金授与式

授業料全額給付入試

注：2021年実績

合格者は授業料を全額免除

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)

一般I期入試成績上位者授業料全額及び半額給付制度

成績上位者若干名について授業料を全額または半額給付

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)

(2020年度から半額給付を導入しました。)

※2020年度実施から給付型入学試験に変更しました。

11. 学生生活

(4) 学生サポート

障がい学生サポートルーム

・障がいのある学生が、他の学生と同じように授業等に参加できるよう、学生の相談に応じ、必要な支援を行う窓口

学生へのサポート業務

- ・入学試験前の相談
- ・入学までの支援
- ・学生生活支援
- ・就職支援

学生サポートボランティアの育成

- ・PCノートテイク支援
(2021年40人在籍)

情報保障用支援

- ・パソコンテイク
講義中の教員等の声をパソコンで文字化する
- ・コミュニケーション
講義中の教員の声を聴きとり易くする機器
- ・UDトーク
講義中の声を機器が認識し文字で表示
- ・映像文字起こし
映像を使用する教材の音声事前に文字に起こし、他の学生と同じように授業を受ける



プレゼンテーション賞

第15回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム(PEPNet Japan)
(2019.11.24)

SUN-Kuma(Support University Network Kumamoto)学生交流会」

・熊本大学と熊本学園大学、崇城大学の学生サポーター交流会

アドバイザー制 (クラス担任制)

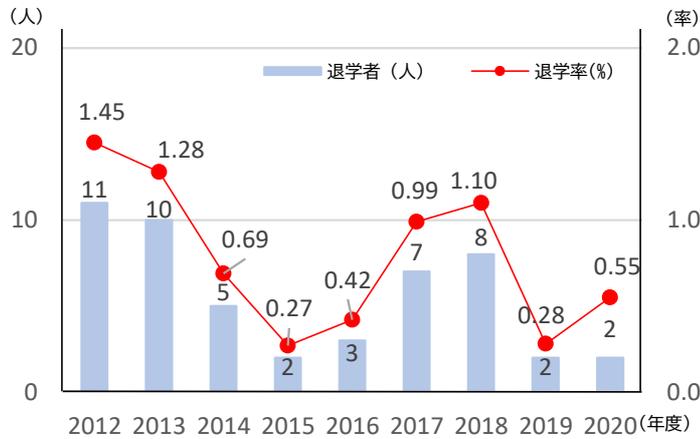
入学時に約20名程度の学生グループを編成
原則として同じ教員が4年間アドバイザーとして卒業後の進路を視野に入れつつ、きめ細やかな指導を実施

学内カウンセリング相談室

臨床心理士の資格を持つ外部カウンセラーを配置
様々な悩みの相談を受け、学生生活がスムーズに送れるようにサポート

学生支援懇談会

年2回、学生の状況を大学内で、情報共有卒業までのサポートを実施

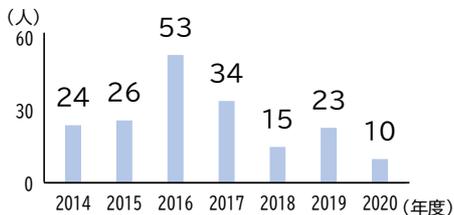


本学退学率 0.55%

熊本県内 私立大学(文系学科) 退学率4.0~7.1%
算出方法:退学者÷(全学生+除籍者)×100(%)

(2021年度) 2022年3月 本学調べ

学内カウンセリング利用件数



健康相談窓口

新型コロナウイルス感染症の影響で不安や悩みを抱えている学生が一人で悩まないために2020年4月8日から学生支援課内に開設

相談件数 31件 延べ80回

(2021年2月未現在)

11. 学生生活

(5) クラブ・個人活動等



ハンドベル



聖歌隊

特色のある活動	
聖歌隊	礼拝堂を中心としたミニコンサート
ハンドベル	入学式・卒業式・キリスト教関連イベント

2021年度 実績

金曜教室	「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
坂上 陽菜	熊本県知事賞(一席)『文化財と教育で伝承する災害記憶 ～「ハート事業」の提案～』 大学コンソーシアム熊本地域創造部会主催, 熊本県・熊本市共催による「課題解決のための政策アイデアコンテスト」



文部科学大臣表彰((金曜教室))



熊本県賞(坂上陽菜)

2020年度 実績

自閉症支援部	「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
--------	---------------------------



文部科学大臣表彰(自閉症支援部)

11. 学生生活

(6) 学内表彰

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため対面での表彰式は行いませんでした。



2019年度 学長賞及び学長奨励賞授賞者

学長賞(2012年～)

在学期間中に本人又は大学の名誉となる顕著な功績をあげた学生に対して、その功績を称える。

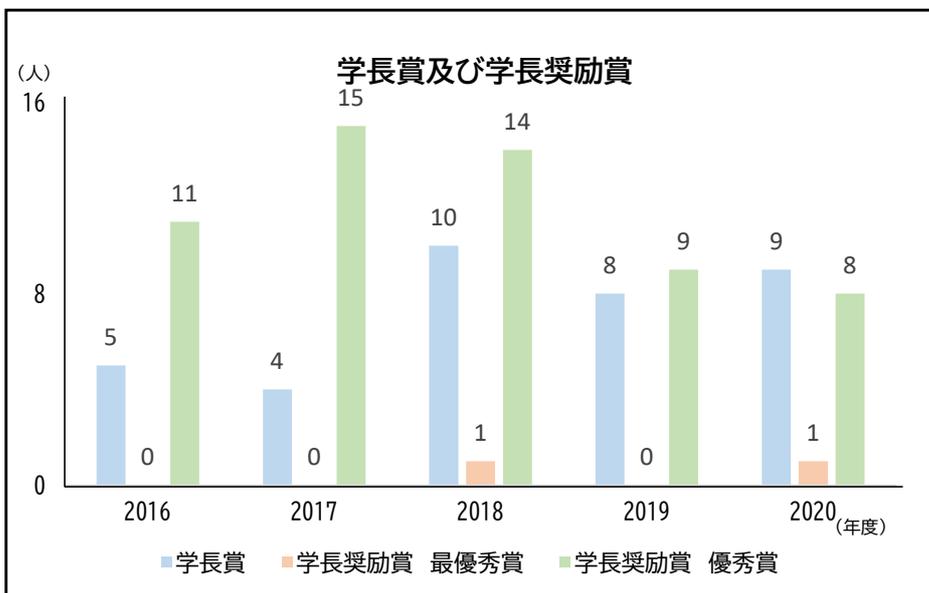
基準

1. 他の学生の模範となる卓越した学業成績を修めた者
2. 在学期間を通じて宗教活動に極めて熱心に取り組み、たの学生の模範となる優れた実績を残した者
3. 正課外活動又は社会的貢献活動で顕著な功績をあげた者
4. その他、学長賞にふさわしい功績をあげ、学科長から推薦された者

学長奨励賞(2016年～)

該当年度において学長奨励賞選考基準を満たす者に対してその努力を称える。

基準	項目	最優秀賞	優秀賞
	TOEIC	860点以上	700点以上
	実用英語検定試験	1級	準1級
	各種情報処理検定	—	Word、Excel共に1級合格 ITパスポート試験合格
	保育英語	1級	準1級
	その他	学長奨励賞表彰にふさわしいと認める者	



学長賞及び学長奨励書授賞式

12. 施設・設備

(1) チャペル (礼拝堂)



座席数 585席

県内大学では
唯一の施設



クリスマス礼拝

(2) 学生ラウンジ



2020年4月にリニューアル

(3) 学生支援センター



2020年4月にリニューアル 学生支援課と教務課を併設

(4) 図書館及び周辺



図書館 閲覧室リニューアル



多目的ルーム設置 (カウンセリング等に使用)



トイレ リニューアル

2022年3月

13. 新型コロナウイルス感染症対策

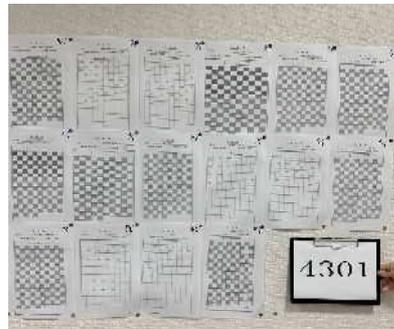
(1) 学生や授業等の取り組み

2020年度よりも、対面授業、分散授業、遠隔授業に柔軟に対応できる学修環境を確保し、学生主催の行事等もできる限り実施する。

月日	対応
3月10日	2021年度授業実施方針について 履修者数が50人以下の科目は対面授業実施
4月 2日	入学式を人文学科と心理臨床学科の2回に分けて実施
4月26日	熊本県下の新型コロナウイルス感染症の警戒リスクレベル5に伴い、4月26日から遠隔授業に授業形態を変更。
6月10日	履修者数が50人以下の科目は対面授業再開
6月16日	一部課外活動の再開
7月29日	リスクレベル5に伴い課外活動の停止
9月10日	リスクレベル5に伴い全面遠隔授業実施
9月18日	ペプ・ラリー(進路・就職のための活力集会)オンライン開催
9月28日	履修者数が50人以下の科目は対面授業再開
10月7日	課外活動の一部再開
10月16日	スポーツDAY開催(1・2年生対象)
1月11日	全面遠隔授業実施及び学内立ち入り制限・課外活動の停止
1月12日	一部実技・実習等を除き遠隔授業に変更
3月10日	学内合同企業説明会オンライン実施
3月15日	卒業証書・学位記授与式人文学科と心理臨床学科の2回に分けて実施・オンライン同時配信も実施



遠隔授業受講状況



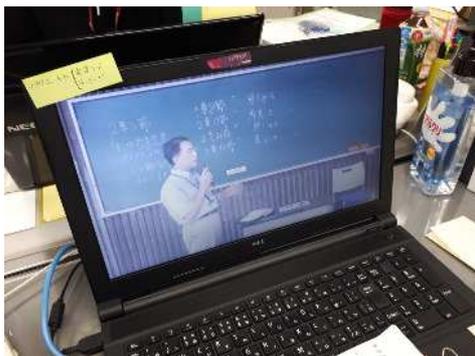
対面授業用座席配置図
授業別指定座席表



対面授業用座席配置(4301教室 定員146人)
対面授業での座席数 73人(使用率50%時)

(2) 教職員の取組

遠隔授業と対面授業を併用し、学生の学修機会と相談環境の確保を目指した。



授業配信状況



保健師(職員)による
体調不良者に対応するための説明会



学生貸与用パソコン一式 40台

13. 新型コロナウイルス感染症対策

(2) 施設

2020年度に引き続き、全ての施設で座席数を減らし、使用後は消毒作業を行い、感染予防対策を行っている。

施設名	対策
講義室・教室	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業で使用する教科では、指定座席表を掲示 ・遠隔授業等で学生が利用する場合は、利用できる座席を明示 ・出入口に消毒液を設置
ラーニング・コモンズ	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
学生ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置 ・机上にパーテーションを設置
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
学生食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
教務課	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターにパーテーション設置 ・カウンター横に消毒液を設置
学生支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターにパーテーション設置 ・カウンター横に消毒液を設置
貸与用物品	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコン40台 ・WiFiルーター 5台 ・ヘッドセット及びWebカメラ40台



ラーニングコモンズ



学生ラウンジ



図書館



学生食堂



多目的ルーム



教務課・学生支援課



学院聖句

わたしが来たのは羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである。

(ヨハネによる福音書 10 章 10 節)

発行 2022.03.31

九州ルーテル学院大学
総務課

〒860-8520

熊本市中央区黒髪3-12-16

TEL 096-343-1600(代表)

<http://www.klc.ac.jp/>